



2019年2月28日発行 会報第963号

今週のプログラム

(2019年2月28日 第963回例会)

卓話: 「インディアンライフ・アウトドアライフ・マイライフ」

担当: 山田 克子 会員

次週のプログラム

(2019年3月7日 第964回例会)

卓話 「グルメのお話」

担当: 岸上 和典 会員

第962回例会 (2019年2月21日) の記録

<会長の時間>

会長 藤田 芳浩

皆様 こんにちは、お元気ですか！先週例会の「ファイヤーサイドミーティング」皆様にご協力を頂き有難うございました。まったくどのような状況になるのか予想が出来ませんでした、「マイロータリー」にご登録いただき感謝申し上げます。皆様にお手数をお掛けしてPCをご持参頂きましたが、各PCのインターネット環境が違いますのでWi-Fiにすぐつながる場合とケーブルをつながなければならぬ場合と様々でしたので、各端末を確認させて頂きながら登録をお願い致しました。登録が出来ましたら「マイロータリー」から「ロータリークラブセントラル」に入って頂き多くの情報を確認して頂きたく思います。さて、皆様ご承知のようにロータリーには特別月間があります8月は、「会員増強・新クラブ結成推進月間」9月は「基本的教育と識字率向上月間」及び「ロータリーの友月間」10月「経済と地域社会の発展月間」と「米山月間」11月「ロータリー財団月間」12月「疾病予防と治療月間」1月「職業奉仕月間」そして2月「平和と紛争予防/紛争解決月間」です。3月「水と衛生月間」4月「母子と健康月間」5月「青少年奉仕月間」6月「ロータリー親睦活動月間」となっており例会場に掲示されている「年間行事予定表」にも掲載されています。またロータリーには特別週間もございます。これはRI理事会が期間を指定している「ロータリー学友参加推進週間」10月7日を含む1週間、ロータリー学友をクラブの例会や奉仕プロジェクトに招待・参加を奨励しています。同様に「世界インターアクト週間」11月5日を含む1週間、「世界ローターアクト週間」3月13日を含む1週間、それぞれ活動への参加と活動を奨励しています。もう一つ「世界理解と平和週間」がありますがこれは2月23日から始まる1週間となっており、今年は3月1日までの1週間を「世界理解と平和週間」と呼び、ロータリーの奉仕活動を強調する週間とRI理事会で決議されています。では、この週間はなぜ2月23日からなのかは皆様ご承知のように1905年2月23日にロータリーの創始者ポール・ハリスが友人3人と最初に会合を持った日であり、ロータリーの創立記念日となっているからなのです。ロータリーの創立日を目の前にして改めて奉仕活動を今後も強く進めて行きたいと思われました。

<お客様> なし

<出席報告> 西本 明文出席担当

会員数（内出席免除会員1名） 20名
本日の出席者数 16名
（内出席免除会員 1名 名誉会員 0名）
本日の出席率 80%
前々回（2月7日）の修正出席率 90%

<ロータリーソング>

♪スキーの歌 ～山は白銀（しろがね）～♪

<ピアノ演奏> 近藤 美里さん

1. Alfie
2. ばらのタンゴ
3. Stars

<幹事報告>

水島 洋 幹事

1. 地区ガバナー指名委員会よりガバナーノミニー・デジグネート候補者の指名について連絡がありました。2021-22年度 RI 第2660地区ガバナー候補者 吉川 秀隆氏（大阪RC）
2. 当RCが2019学年度4月からお世話をします米山奨学生が決定しました。マレーシア国籍の女性 タン, フイ ウェン エリカさんです。詳細を回覧致します
3. 東日観光旅行社より、ハンブルク国際大会のツアーの案内が参りました。
4. 大阪手をつなぐ会より冊子が届きました。

<SAA報告>

山本 友亮 SAA 補助

*スマイルボックス

西本明文会員 大学入試シーズンです。
西本詩子会員 黒川先生卓話楽しみです。
山田会員 黒川先生、卓話のお題、今の時代、考えねばならない時代になりました。
山下会員、村田会員 コメントなし

*ロータリー財団

藤田会員 「ファイヤーサイドミーティング」皆様、ありがとうございます!!
黒川会員 卓話よろしく!!
山下会員、野崎会員 コメントなし

*米山記念奨学会

藤田会員 花粉症が近づいているようです。
黒川会員 カゼひくな!!
西本明文会員 まだ寒い日が続きます。
西本詩子会員 かよわそうなスイトビー。生花の剣山にりと立ちます。
木下健治会員 来年度の米山奨学生が決まりました!マレーシア出身の女性です。
山本友亮カウンセラーよろしくお願ひします!
山下会員、山本会員 コメントなし

*ラオス基金

藤田会員 ラオスの直行便が出来るようです!!
西本詩子会員 冬木立寒さの中にも美しいです。
山下会員、西本明文会員、相原会員 コメントなし |

*メイプル基金

| | |
|--------|-----------------------------|
| 水島会員 | 黒川会員、卓話よろしくお願ひします。 |
| 水本会員 | パワハラ、セクハラ、モラハラ ハラスメント流行です!! |
| 山本友亮会員 | 春風を感じました。 |
| 藤田会員 | 黒川会員、卓話楽しみです!! |
| 黒川会員 | 花粉症に注意!! |
| 野崎会員 | もうすぐ春ですね。 |
| 山下会員 | コメントなし |

〈卓話〉

「パワーハラスメントを考える」

黒川彰夫会員

厚生労働省では、職場のいじめ・嫌がらせについて都道府県労働局への相談が増加傾向にあったことを踏まえ、「職場のいじめ・嫌がらせ問題に関する円卓会議」を開催し、平成24年3月に「職場のパワーハラスメントの予防・解決に向けた提言」が取りまとめられました。

その提言の後、様々な形で厚生労働省から発信されていますが、私たちは意外と無関心で仕事をしています。そして、時としてパワハラ、セクハラ、モラハラのような事象を招き、驚いたり、アタフタしたりして適切な対応が出来ない場合があります。

私自身、このような場面に遭遇しやすく、適応し難い人間だと反省し、自戒を込めてお話ししたいと考えています。なお、お話は厚生労働省が発信している参考資料や動画を使って進めたいと思います。また、会員の皆様にも後ほど、ご意見を頂きたいと存じます。

まず、職場のパワーハラスメントの定義は、「同じ職場で働く者に対して、職務上の地位や人間関係などの職場内の優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える又は職場環境を悪化させる行為」とされています。また、上司から部下に対するものに限られず、職務上の地位や人間関係といった「職場内での優位性」を背景にする行為が該当するのです。さらに、業務上必要な指示や注意・指導が行われている場合には該当せず、「業務の適正な範囲」を超える行為が該当するとされています。

さて、ハラスメント(Harassment)は英語で「嫌がらせ」という意味です。ハラスメントの定義は「他人に対する発言や行為などで、意図している・していないに関係なく、不快にさせたり、傷つけたりすること」だと言われています。ハラスメントは、「意図している・していない」が関係しており、不快にさせるつもりはなくても相手が不快に思ってしまったら「ハラスメント」となることを認識しなければなりません。

ハラスメントには、パワハラ、セクハラ、モラハラ以外に、マタハラ(マタニティ ハラスメント)、アルハラ(アルコール ハラスメント)、ジェンハラ(ジェンダー ハラスメント)、スモハラ(スモーク ハラスメント)など様々なハラスメントがありますので、注意いたしましょう。

職場のパワーハラスメントについては、裁判例や個別労働関係紛争処理事案に基づき、次の6類型を典型例として整理されています。

- 1) 身体的な攻撃(暴行・傷害)
- 2) 精神的な攻撃(脅迫・名誉毀損・侮辱・ひどい暴言)
- 3) 人間関係からの切り離し(隔離・仲間はずし・無視)
- 4) 過大な要求(業務上明らかに不要なことや遂行不可能なことの強制、仕事の妨害)
- 5) 過小な要求(業務上の合理性なく、能力や経験とかけ離れた程度の低い仕事を命じることや仕事を与えないこと)

6) 個の侵害（私的なことに過度に立ち入ること）

つまり、先に説明しました職務上の地位や人間関係といった「職場内での優位性」を背景にする行為があった場合が問題なのです。

したがって、これらの点からすると私達ロータリアンの多くの方々は、会社の経営者や弁護士、医師など「職場内での優位性」が常にあるものと認識して、発言、行為に慎重でなければならぬと考えます。

厚生労働省では、職場のパワーハラスメントの予防・解決に向けた取組について、多く発信していますので機会を見つけて確認して頂ければ幸いです。

今回、このテーマを選んだのは、私自身が最近パワーハラスメントの落とし穴に陥りかかったからです。以前から、私にはその傾向があったのかも知れません（きっとあったのです）。今では、パワハラとは何かを知っておくことが非常に大切なことだと反省しています。

皆様も、ぜひスタッフに対して「パワハラ」をしていないかを考えて頂きたいと思っています。

そこで、会員各位の個人的な非常に貴重な経験談をお聞かせ頂きました。その内容については会報で詳らかに出来ませんが、今後、私たちが経営や社会生活を行っていく上で、極めて役立つお話を聴かせて頂きました。会員の皆様に心より感謝申し上げます。

私は、個人的には「難しい時代になったなあ！」と思っています。それでも、人間同士の強い絆を信じているのは私だけではないことを今回知って、このテーマを選んで良かったと考えています。

<編集後記・追加情報・チョット一言・ライブラリー・etc>

今回の卓話のテーマは、非常に難しく、際どいお話となりましたが、会員の皆様方のご協力によって、大いに助けられました。

仲間っていいな！と感じております。

(文責：黒川彰夫) |